

| 講座No. | 講師名 | 講座テーマ | 講座内容 |
|-------|-----------------|--|---|
| HT-1 | 五十嵐 潤子 教授 | 2030年6,000万人の外国人が訪れる国「日本」を目指して～住んで良し、訪れて良しのおもてなしのあり方大研究～ | インバウンドマーケットの現状と、日本における訪日客受け入れの重要性を抑えつつ、オーバーツーリズムの問題や地元の魅力の発掘や磨き上げの意義などについて考える機会とします。 |
| HT-2 | 渭東 史江 教授 | ホテルビジネス | ホテルには様々な形態があります。また、ホテルの組織は様々な部門から成り立っています。それぞれの特徴を知ることにより、ホテルを奥深く知ることができます。 |
| HT-3 | 内苑 孝美 副学長・教授 | ホスピタリティの重要性を通しての営業、マーケティング | ホテルのホスピタリティを考えつつ、営業、オペレーション全般における「よき人財」とはを考えてみたい。 |
| HT-4 | 木内 伸樹 教授 | 外資系航空会社のホスピタリティ | 英国系航空会社の客室乗務員の経験を通して、イギリスのホスピタリティについて学び、感じたこと、外資系航空会社の日本人乗務員としての役割などを、30年近いキャリアから紐解いていきます。 |
| HT-5 | 中野 実 学部長・教授 | 国際平和と観光 | 観光業は平和によって成り立っているともいわれています。そしていまや年間4000万を超えようとしているインバウンドを迎える観光業はいまや日本の主要産業となっています。日本貿易振興機構(ジェトロ)によると、インバウンド消費額は、日本の主要な輸出産業と同等の規模です。そこで湾岸戦争から現在のウクライナ問題まで観光業に与えた影響を確認し、私たちが出来ることを考え、観光業にとっての平和の重要性を再確認する講座となっています。 |
| HT-6 | 二宮 秀生 副学長・教授 | 旅の力とホスピタリティ | 「文化」「交流」「経済」「健康」「教育」といった旅の力を共有する。 訪日外国人(インバウンド)のマーケットやホスピタリティの大切さについて共有する。 |
| HT-7 | 前田 篤志 教授 | 現代の「みんな、なかよく」とは一身のまわりにあるインクルーシブ | インクルーシブとは、障がい、国籍、性別、年齢などの違いに関わらず「誰も排除せず、共に生きる社会」を目指す考え方です。これは遠い理想ではなく、バリアフリーやユニバーサルデザインなど、私たちの身近な日常の工夫の中にもすでに存在しています。 本講座では、この「みんな、なかよく」を実現する上での必要性や、理想と現実のギャップといった正解のない問いに向き合い、高校生の皆さんが自分自身の言葉で主体的に考えるきっかけを提供します。 |
| HT-8 | 水野 徹 教授 | マーケティングと航空業界 | 日常生活は企業のマーケティング情報に溢れています。まず人々の生活に密接な関係にあるマーケティングの入り口を、実例を挙げながら紹介していきます。さらに、航空業界に焦点を当て、マーケティングがどのように応用され、企業がマーケットに発信しているメッセージを一緒に読み取っていきます。 |

| 講座No. | 講師名 | 講座テーマ | 講座内容 |
|-------|-------------|---|--|
| HT-9 | 三輪 祥宏 教授 | 上司や同期が日本人ではない会社 になってもあわてないための組織 コミュニケーション入門 | まず、日常生活や会社のオフィス内でのコミュニケーションの重要性を認識して、どのようにすれば コミュニケーションのスキルが 向上するかを確認します。そのうえで、企業経営環境のグローバル化 にともなって人材が多様化する職場になっても生き抜いていくためのコミュニ ケーションへの気づ きと学生時代にできることについて一緒に考えていきます。 |
| HT-10 | 吉田 成利 教授 | 裁判員制度と国民の司法参加 | 2009年より導入された裁判員制度は、国民の司法参加を促進し、法や裁判が日本人にとって身近 なものとなることをねらいとして導入されました。しかし、裁判の当事者による裁判員への脅迫や、 複雑で理解しにくい内容の刑事裁判に対する改善策が未だにとれていません。公平な裁判を実現す るための司法制度が日本の裁判において実現できるのか？さまざまな事例を紹介し、皆さんと議論 します。 |